日本公認会計士協会
JICPA

埼玉県会 CPAニュース

第12号 2015. 1. 1

越生梅林

埼玉県のマスコット　コバトン

CONTENTS

会長あいさつ …… 2
県知事メッセージ …… 3
東京会会長あいさつ …… 4
東京会定期総会議長を体験して …… 5
県会長時代の思い出 …… 6
埼玉会（仮称）設立準備委員会 …… 7
事業報告 …… 8～9
県会行事 …… 10～15
事務局だより …… 16～20
会員コーナー …… 21～22
役員名簿等 …… 23
編集後記 …… 24

新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会　会長
小山　　彰

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

日頃は埼玉県会の事業及び会務につきましてご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成26年度も残すところ３カ月足らずですが、今年度も平成26年度の事業計画の基本方針及び重点施策に則り、積極的に会務を進めております。とくに今年度本部・東京会と連携・協力し推進をしている事業は次のとおりです。

①公的分野

昨年４月30日に「今後の新地方公会計制度の推進に関する研究会報告書」が総務省から公表されたことを受けて、地方公共団体における財務諸表の作成に係る統一的な基準を地方公共団体職員の方へ知っていただくための活動を行っています。まず昨年10月20日に埼玉県庁の監査事務局と共催で、埼玉県庁の職員向けに「地方公会計研修会」を開催し、協会本部から講師を招き、多数のご参加をいただきました。

②子ども・子育て支援制度

幼稚園法人が施設型給付に移行した場合に、これまで行ってきた幼稚園監査にも影響があることから、東京会の子ども・子育て支援部会などを通じて情報を収集し、会員の皆様にも研修会などを通して情報を提供して参りました。

今後は、この制度を実際に運用する市区町村に対して、新制度の導入の支援に公認会計士のこれまでの経験が生きることや導入後も公認会計士の監査を継続することのメリットなどをアピールして参りたいと思います。

③中小企業支援

県会会員の皆様が経営革新等支援機関へ認定していただくことを積極的に勧めて参りました。次のステップとして東京会の「金融機関と認定経営革新等支援機関である会員との連携推進制度」を埼玉県会でも協力して展開しています。これは協会本部が整備した「経営革新等支援機関として認定された会員等名簿」から、各金融機関のニーズに適合する会員に関する情報を提供するものです。すでに県内の主な金融機関とこの制度を利用していただくための覚書を締結いたしました。当制度に基づく利用申込が金融機関から出ています。

次に、埼玉県会の地域会化についての動きですが、昨年５月14日の本部理事会で、東京会から提出された埼玉県会を分割するという建議が承認されました。現在東京会内に埼玉会（仮称）設立準備員会を、埼玉県会内にも設立準備委員会を設け、本年秋に予定しています埼玉会（仮称）設立総会に向けた準備も本格的に始めています。

埼玉県会の地域会化は、ご案内のとおり協会本部のガバナンス改革として本部情報の会員への周知と、会員の意見の本部へ集約を円滑にすることが契機でした。

しかしながら地域会化することによって地元自治体等や関係諸団体との関係がより緊密となり、埼玉県の公認会計士が地域社会に貢献する機会がますます増えるものと考えています。

私は、地域会設立に向けて、以下の３点を主眼において、規約・規程・細則そして事業計画・予算の策定、組織体制づくりをして参りたいと思っています。

①地域会として埼玉県会独自の事業を進めていくこと　これは地域会になる以上当然のことですが、地区会としての埼玉県会が行ってきたこれまでの事業を羅列してみるとかなりの部分地域会に近いものになっているのではないかと改めて感じています。東京会から離れた場合、まずはこれらを継続していくことを第一に、さらに予算的に許される範囲内でこれを発展させていければと思っています。

②会員の利便性が低下しないようにすること

予てから申し上げてきたとおり、研修、広報、厚生、そして調査研究、会員の業務に資する情報等々、これまで埼玉県会の会員が享受してきたサービスを維持するには、東京会にご協力をいただく場合もあります。

③北関東における本部・東京会の窓口となること

東京会に協力を仰ぐだけでなく、国の各種行政機関をさいたま新都心に抱え、また北関東の玄関口大宮に事務所を有する埼玉県会として、東京会及び隣接する各県会とも今後も連携・協力をさせていただくつもりです。このことは東京会の柳澤会長が常々述べられている「関東における連合体」と相通じるものと思います。

地域会化をすれば、役員だけでなく会員の皆様の会務へのますますのご理解とお力添えが必要となって参ります。よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、埼玉県会の会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「埼玉から未来を築く」
～埼玉の地方創生～

埼玉県知事
上田　清司

新年おめでとうございます。

日頃、県内企業への経営改善支援など、県政推進に多大な御協力を賜っている公認会計士の皆様に深く感謝申し上げます。

昨年は小川町・東秩父村の「細川紙」がユネスコの無形文化遺産となるなど、埼玉を世界にアピールできた一年でした。

一方、人口減少により全国約半数の市町村が将来「消滅」しかねないとする試算が出され、地方創生が大きな課題になりました。

本県では、埼玉を元気にする施策で成果を挙げてきました。

企業誘致では平成17年１月から758件の立地を果たしています。これにより約２万４千人の新規雇用と約１兆890億円の投資が見込まれます。過去10年間の企業本社の転出入も1,324社の転入超過で日本一です。

また、グローバル人材の育成にいち早く取り組み、平成23年度から1,065人もの若者が県の奨学金を活用し海外留学に羽ばたきました。これも自治体では日本一の規模です。

さらに、健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指し、「健康長寿埼玉プロジェクト」に取り組んでいます。今後、健康長寿埼玉モデルを構築し、全県展開につなげていきます。

既存の住宅街区をエコタウンに変えていく「埼玉エコタウンプロジェクト」では、太陽光発電機能を備え、省エネ性能を高めた「スマートハウス」に変える取組を進めています。

一方、本県では2025年には、生産年齢人口が約51万人減少すると推計されています。団塊の世代が後期高齢者となり、医療・介護の需要が増加します。これらに備え、先手を打っていくのが埼玉の地方創生です。

そのためには３つの柱が重要です。

一つ目は生産年齢人口の減少をカバーする取組です。特に女性の活躍は重要です。女性の大きな力を社会で最大限に生かす「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進めています。

シニア世代に力を発揮していただくことも不可欠になります。

女性やシニアの活躍で生産年齢人口の減少をカバーするという日本の課題に埼玉が率先して取り組みます。

二つ目は、次世代産業の育成です。

グローバル経済の下で日本が成長を続けるためには、国際競争で勝てる産業の創出が必要です。そのため、今後の成長が見込める産業を育成し埼玉に集積させる「先端産業創造プロジェクト」に取り組んでいます。新たな産業が新たな雇用や生産、消費を生み出す仕組みを構築します。

三つ目は、あらゆる部門での生産性向上です。働き手が減っていく中で経済成長を続けるには、生産性向上が欠かせません。とりわけ我が国のGDPや雇用の７割から８割を占めるサービス産業の経営革新が不可欠です。この問題に官民協力して取り組んでいく必要があります。

これらを進めていくには、行政と経済界をはじめ各種団体、そして県民の皆さんの相互協力が重要です。

本県は、日本一の数を誇る自主防犯組織の活動や県民主体による「みどりと川の再生」など、共助の力で成果を挙げてきました。県民パワーを生かし、10年後を見据えた「埼玉の地方創生」に全力で取り組みます。

埼玉の輝く未来のために、県民の皆様の御協力をよろしくお願いします。

新年のご挨拶「東京会チャレンジプランのさらなる実現と埼玉県会の地域会化に向けて」

日本公認会計士協会
東京会　会長
柳澤　義一

埼玉県会の先生方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、東京会の各種施策にご協力賜わり厚く御礼申し上げます。2015年年頭にあたり、東京会チャレンジプランの進捗状況と埼玉県会の地域会化に向けての東京会のスタンスについて述べさせていただきたいと思います。

【東京会チャレンジプランの進捗状況】

第二期目に入った東京会チャレンジプランは、東京会から全国の地域会への発信というテーマを加えてパワーアップした施策を進行中です。

1．本部施策の伝達・意見発信☞本部発出の各種公開草案等について積極的に説明会を開催し、また東京会としての意見を発信する活動を推進しています。

2．地域社会への貢献☞地方自治体の首長訪問を積極的に行い、公会計分野をはじめ公認会計士の専門性が地域社会に貢献できることをアピール。実際に多くの会員を各所に推薦しています。

3．地区会活動の基盤整備☞事務局内に地区会課の設置。また、住所地の地区会にも参加できる新住所地会員制度もスタートさせています。

4．会員交流☞従来からの厚生活動に加え、慶寿会、音楽祭、マラソン大会などを実施。また、公認会計士試験合格者の歓迎会も実施しました。青年部の設立も企画しています。

5．業務拡大☞中小企業支援、公会計改革、子ども子育て支援法対応、税務業務部会等々会員の業務拡大に密接な活動を自治体や金融機関など外部機関と提携等により活発に展開しています。

6．そして、昨年、12年ぶりに東京開催となった全国研究大会東京大会は、過去最大規模の2000人を超える会員が全国から集まり、東京会から全国の会員への大きな発信の場となりました。その他、例えば、出産育児会員の会費の免除、子ども子育て支援法対応や中小企業支援のための金融機関との連携推進制度など東京会施策を全国の地域会へ積極的に発信しています。

【埼玉県会の地域会化への支援と地域会になったあとの東京会との連携】

埼玉県会が全国で15番目の地域会となる日が近づいています。地域会の規模としては、兵庫会に次ぐ全国６番目の地域会になる予定です。東京会としましては、全力で埼玉県会の地域会化をバックアップしていきます。地域会になることそのことよりも大切なことは、地域会になった後の活動です。本部に直接役員（理事）を輩出し、本部と直結できることのメリットを最大限に生かし、一方では埼玉県をはじめとする地元の各種機関との関係強化を図り、埼玉県会の会員の皆様に多くの便益がもたらされるよう工夫しなければなりません。そのためには、新生・埼玉会（仮称）と東京会、神奈川県会、そしてやはり地域会化をめざしている千葉県会と共に一都九県の枠組みで新しい連携態勢を構築していく必要があります。今年は、その基盤整備のためのスタートの年でもあり、埼玉県会の皆様と共にしっかり協議していきたいと思います。

本年も引き続き、東京会の活動をご支援賜わりますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

東京会定期総会議長を体験して

日本公認会計士協会
埼玉県会　前会長
荒井　伸夫

昨年３月末東京会事務局から、６月30日に開催される第48回東京会定期総会の議長に就任してほしい旨の連絡がありました。実は前年の定期総会で副議長を拝命し、この種の役割は終わったと思っていたので意外でした。しかし、お断りする理由もないのでお引き受けすることにしました。

ところが、４月下旬に脊柱管狭窄症の腰痛に襲われ、杖を突いても５ｍぐらいしか歩けません。幸い、前かがみになると痛みが出ないので椅子に座ることはできますが、議長席まで歩くのに途中で動けなくなったり、転んだりしないだろうかと不安は募ります。６月17日の議長団候補者打合せ会の頃には痛みも少しは治まってきたので、最後には杖を突いてでもやるかと覚悟を決めました。

総会当日のホテルの会場は、最前列右側が議長団候補者席。壇上の議長団席までの約10mがやけに遠く感じられました。司会者より１時定刻の案内があり、開会の辞、森協会会長の挨拶、坂本関東財務局長の挨拶、物故会員への黙祷と進み、いよいよ議事に入ります。柳澤会長より、東京会規約第10条の６の規定により、議長に埼玉県会の荒井会員、副議長に千代田会の池田会員、品川会の一之瀬会員を任命する旨の発言があり、３名は候補者席で起立し、揃って議長団席に移動します。足腰の痛みはほとんど感じず、杖は使うまいと決めました。それでも途中で転ばないように慎重に歩きました。

議長席にて就任の挨拶、ゆっくりと大きな声ではっきり話すように心がけました。最初は報告事項で、平成25年度会務及び事業報告の説明があり、会員からの質問も無く予定より５分遅れで審議事項に入りました。第１号議案の収支計算書及び財務諸表承認の件について担当常任幹事より説明の後監査報告があり、質疑開始です。貸倒引当金に関する質問。続いて収支計算書だけでなく財務諸表の説明もすべきではとの質問。地区会への交付金は具体的な使途が分からない、費目別の展開が必要ではとの質問。終わって時間も少々遅れ気味なので質疑を打ち切り採決に入り、委任状を含めて賛成多数を得て、第１号議案は原案どおり承認可決されました。第１号議案を終えてホッとし、休憩に入りました。10分遅れです。

審議再開。第２号議案の事業計画案と第３号議案の収支予算書案は一括上程し、柳澤会長以下各副会長が担当部門ごとに提案説明を行いました。資料の先に眼と心を取られ、最後の説明者淺井副会長を飛ばしてしまいました。すぐに気が付き事なきを得ましたが、淺井先生失礼しました。質問は活発に出ました。まず、住所地会員関係予算178万円の質問。三多摩会の事務所設置予算は手順が逆ではとの質問。予算では１億円強の支出超過、会費収入で成り立っている協会の健全な予算の立て方はとの質問。時間も経過しているのでこの質問で打ち切ろうと思いましたが、更に質問の手が上がりました。企業の監査役をしていて若い公認会計士の税務に関する知識不足が目立つ、充実した税務研修を期待する。続いて三多摩会の事務所設置費用について追加質問の後、頃は良しとみて、質疑を打切り議案ごとに採決に持ち込み、賛成多数で原案どおり承認可決されました。予定より40分遅れ。第４号議案（特別決議事項）、第５号議案は規約改正の件で、質問も出ず、原案どおり承認可決されました。説明が少し長かったので、簡潔にと促しました。以上で全議案の審議が滞りなく終了し、一礼して降壇しました。足腰の痛みはほとんど感じなくなっていました。

質疑が紛糾したら？　緊急修正動議が出されたら？　議長不信任の動議が出されたら？　準備はすれどすべて杞憂に終わりました。予定より25分遅れたが、８名もの質問者があり、十分な質問機会を取って内容のある総会となったのではないかと思っています。資料の作成、事前打ち合せ会、議決権の取扱い等々、東京会の事務局の皆さんには大変お世話になりました。埼玉県会はこれから地域会として独立する予定ですが、独立後の総会運営に大変参考になりました。

県会長時代の思い出

日本公認会計士協会
埼玉県会　元会長
熊木雄太郎

広報委員長の小川先生より、私の会長時代の思い出等を寄稿して下さいとの御連絡を受け、10年前頃の会長時代を思い出してみました。

私の前任の会長は坂本隆信先生で当時私は幹事を引き受けるだけで十分でした。その後、次期会長の推薦を受けるなど全く考えて居りませんでしたが、諸般の都合上会長職を引き受ける事となりました。

今も強く思い出される事は、次の三点です。

まず第一に、事務所移転の件が思い出されます。当初、坂本会長時代に新都心の近くに念願の埼玉県会事務所を開設しましたが何分にも手狭となり、またCPEも制度化された為、手頃な移転先を模索していた所、現在のソニックシティビル８Ｆに良い物件が有るという話が舞い込んできました。

とは云え、今後の賃料の支払い等々契約するにあたり、不安も有りました。移転を取り付ける為、当時の藤沼本部会長に直談判した事が思い出されます。幸いにも埼玉県会は有志の方々からの御協力により、契約を先に進める事が出来ました。

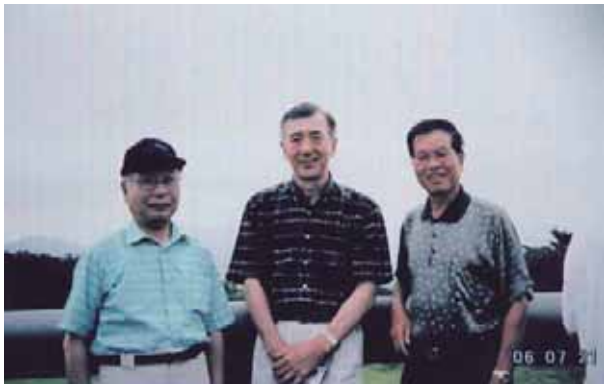
更に荒井会長の時代に現在のスペースを確保する事が出来、研修会場も80名前後収容出来ることになり、埼玉県会事務所としての存在感を高めました。

第二に、埼玉県会組織は仕事量も少なく、全てを会長の一人勘定で事を運んで居りましたが、業務量の拡大も有り、埼玉県会の更なる発展も鑑み担当部会制を取り入れる事としました。総務、業務、研修、広報、親睦と分け副会長の方々に御協力を仰ぎました。お陰様で、各部会の活発な御協力も有り、更なる埼玉県会運営の下地となったものと思います。

第三に、「埼玉県会CPAニュース」の発行が出来た事です。2004年１月１日に創刊号が出来、以後毎年１回ですが、広報部の御協力で情報発信及び情報交流の場として定着してきたと思います。

埼玉県会も地域会化へと更に一歩進んできましたが、私の会長時代に十分な職責を全う出来たかは疑問ですが、当時の副会長、幹事、会員方々の御協力に依り、無事に会長職を次期会長にお渡しすることが出来、とても良い経験が出来たと思います。現在の小山会長を初め、執行部の御負担は重いでしょうが、埼玉県会発展の為、より一層の御尽力をお願い申し上げます。

誠に短い拙文ですが、思い出の一端を寄稿させて頂きました。



埼玉会（仮称）設立準備委員会

日本公認会計士協会
埼玉県会　副会長
土屋文実男

「埼玉会（仮称）設立準備委員会」の第１回目の会議は、昨年10月２日に30名の出席をもって開催されました。小山埼玉県会会長が議長となり、始めに埼玉会設立準備委員会の設立の経緯を以下のように説明しました。

１．設立の経緯

昨年５月14日の本部理事会において、埼玉県会の地域会化に伴う東京会の分割に関する審議が行われ承認されました。

これを受けて昨年８月22日に東京会において第１回目の埼玉会（仮称）設立準備委員会が開催され、規約等制定案、事業計画案、収支予算案等の具体的な策定作業は、埼玉県会の委員で行い、この委員会では報告を受けて承認を行うことに決定しました。

そこで、埼玉県会において地域会化に向けて実務的な準備を進めるために埼玉会（仮称）設立準備委員会を設けることになりました。

２．審議内容

小山埼玉県会会長の議長のもと、以下の事項について慎重な審議を行い、出席者に承認を求めたところ、満場一致で承認されました。

（１）構成委員

現執行部の役員を中心として、今後会務に積極的に協力いただける会員およびホームページで構成委員の募集を募った会員を構成委員とし、埼玉県会会長経験者及び埼玉県会地域会化検討委員会の委員であった会員をオブザーバーとしてお願いしました。構成員は以下のとおりです。

委 員 長：小山　　彰
副委員長：西川　正純（委員長代行）、土屋文実男
小委員会委員長：工藤　道弘、佐久間仁志、金井　千尋
小川千恵子、平山　孔嗣、深谷　　豊
委　　員：大野　夏美、中澤　仁之、長田　慶洋
飯野　浩一、芳原　勝伸、川島弥生子
長内　温子、森山　謙一、松田　道春
西村　克広、飯塚　正貴、青山　裕之
小笠原薫子、村田　克也、長岡　千晶
宮城由美子、猪鼻　正彦、高島　誉章
中村友理香、金子由里子、長谷川利晴
オブザーバー：山本　清次、真下　和男、蛭川　俊也
吉島　一良、坂本　隆信、熊木雄太郎
宮原　敏夫、荒井　伸夫、遠藤　忠宏
寺山　昌文、佐野　勝正

以上（敬称略）

（２）組織の概略

総務・経理、業務・調査研究、研修・後進育成、広報、厚生の５部門として当面組織を運営していくことにし、これを見据えて設立準備委員会も各部を同小委員会として組織することになりました。

（３）財産委譲

東京会から財産委譲される弔慰金基金について、東京会で試算した資料に基づいて東京会事務局の荻原課長及び萩生田氏から説明を受けた結果、厚生小委員会で検討を行い、設立準備委員会で再度、審議することになりました。

（４）地域会の名称

埼玉県会からの地域会となる名称を「日本公認会計士協会埼玉会」とすることを審議し、今後、役員会で諮ることにしました。

平成25年度　事業報告

（H25．4．1～H26．3．31）

1．会員及び準会員数（平成26年３月31日現在）

会　　員	６１４名
準　会　員	１７２名
合　　計	７８６名
在 住 会 員	５５名

物 故 会 員	柳　　洋　殿（平成25年４月10日） 肥沼栄三郎　殿（平成25年６月12日） 飯倉　哲成　殿（平成25年９月18日） 齋藤　史郎　殿（平成25年９月23日）

2．事業報告（及び活動報告）

平成25年

４月４日㈭	地区会の地域会化検討PT（東京会）
４月９日㈫	さいたま市契約管理部契約課、埼玉県県民生活部消費生活課と面談
４月14日㈰	親睦ゴルフ大会（川越グリーンクロス）
4月18日㈭～19日㈮	DVD研修会「2013年３月期　企業決算作成実務研修会」
4月25日㈭～26日㈮	DVD研修会「監査事例研修会」
５月１日㈬	監事監査
５月９日㈭	第３回彩の国中小企業支援ネットワーク会議
５月10日㈮	定例常任幹事会、DVD研修会「平成24年度税務申告に当たっての留意事項」「公認会計士のための退職給付会計「ざっくり」講座」
５月13日㈪	DVD研修会「平成24年度税務申告に当たっての留意事項」
６月５日㈬	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
６月10日㈪	定例常任幹事会
６月13日㈭	東京会役員会
６月14日㈮	関東財務局「業務説明会」
６月22日㈯	地域会化検討委員会、役員会、定期総会、懇親会、定例研修会「これからの公認会計士のあり方について」
７月３日㈬	協会本部定期総会（ライブ配信）
７月５日㈮	埼玉友好士業協議会定例会・懇親会 埼玉県消費生活課、埼玉県福祉監査課と面談
７月11日㈭	定例常任幹事会
７月12日㈮	学校法人委員会第７回検討会
7月20日㈯～22日㈪	台湾親睦旅行
７月25日㈭	坂本関東財務局長他２名と面談、東京会地区会長会議
８月１日㈭	経営革新等支援機関制度に係る研修会「中小企業金融円滑化法の期限到来に当たって講ずる総合的な対応について」、「経営革新等支援機関制度と今後の中小企業支援について」
８月８日㈭	定例常任幹事会
8月8日㈭～9日㈮	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
８月19日㈪	埼玉県信用保証協会 業務統括部と面談、経営革新等支援機関制度に係る研修会「経営改善計画策定支援事業について」、懇親会
8月22日㈭～23日㈮	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
８月23日㈮	関東財務局　総務課と面談、正副会長会議及び編集会議
９月２日㈪	DVD研修会「相続税・贈与税の基礎と最近の税制改正について」
９月10日㈫	研修委員会（第１回）、埼玉友好士業協議会第１回幹事会
９月11日㈬	定例常任幹事会、地区会の地域会化検討PT
９月13日㈮	学校法人委員会（第１回）及び第８回検討会
９月18日㈬	東京会地区会長会議
９月19日㈭	東京会役員会、公認会計士フォーラム新潟大会、懇親会
９月24日㈫	社会福祉法人委員会（第１回）
９月25日㈬	DVD研修会「相続税・贈与税の基礎と最近の税制改正について」
10月２日㈬	関東財務局との意見交換会及び懇親会、埼玉県都市整備部住宅課と面談、埼玉県信用保証協会と面談
10月３日㈭	公益法人委員会（第１回）
10月９日㈬	定例常任幹事会、金融庁による業務説明および意見交換会、埼玉友好士業協議会第２回幹事会
10月12日㈯	巡回研修会川越大会「元財務捜査官が語る経済犯罪の実態」、懇親会
10月23日㈭～25日㈮	協会本部秋季全国研修会（ライブ配信）
10月24日㈭	地域会化検討委員会、役員会、臨時総会、懇親会
10月25日㈮	古川議員訪問
10月27日㈰	親睦ゴルフ会（於：おおむらさきゴルフ倶楽部）
10月28日㈪	彩の国中小企業ネットワーク会議
10月29日㈫	地区会の地域会化検討PT（東京会）
10月31日㈭	広報委員会（第１回）、地区会長会議
11月３日㈰	日本スリーデーマーチ（東松山）、懇親会
11月９日㈯	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」
11月11日㈪	学校法人委員会第９回検討委員会、定例常任幹事会
11月12日㈫	川越市と面談
11月18日㈪	社会福祉法人委員会（第２回）
11月19日㈫	埼玉県警察と面談、熊谷市長訪問、巡回研修会熊谷大会CD-ROM「不適切な会計処理が発覚した場合における監査人の対応に関する解説」、懇親会
11月28日㈭	東京会地区会長会議
12月２日㈪	埼玉県会CPAニュース11号編集会議
12月３日㈫	関東財務局主催「地域金融機関と士業団体・商工団体との意見交換会」
12月７日㈯	学校法人・公会計委員会合同研修会 「学校法人監査入門」「公会計は地方自治法から」
12月９日㈪	定例常任幹事会
12月10日㈫	東京会税理士法改正対策PT
12月11日㈭～13日㈮	協会本部冬季全国研修会（ライブ配信）
12月14日㈯	定例研修会、忘年会 「社会保障と税の一体改革～消費税を中心に～」 「わが国公認会計士監査制度の課題と展望」
12月18日㈬	関東財務局との監査連絡協議会
12月20日㈭	東京会役員会、県会ブロック会議

平成26年

１月１日㈬	埼玉県会CPAニュース第11号発行
１月７日㈫	埼玉新聞社主催賀詞交換会
１月10日㈮	正副会長会議、懇親会（新年会）
１月16日㈭	公益法人・社会福祉法人委員会合同研修会「公益社団・財団法人、一般社団・財団法人移行後の決算実務のポイント」「新社会福祉法人会計基準の概要と移行時処理について」
１月17日㈮	協会本部新春全国研修会（ライブ配信）
２月３日㈪	定例研修会「幼稚園法人の検査と財務状況及び新たな認定こども園制度の概要について」「社会福祉施設の指導監査実務とポイントについて」「学校会計の税務」
２月５日㈬	埼玉友好士業協議会第３回幹事会
2月5日㈭～7日㈮	協会本部春季全国研修会（ライブ配信）
２月12日㈬	正副会長会議、社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第１回）、埼玉県県土整備部用地課と面談
２月19日㈬	社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第２回）、埼玉県改革推進課と面談
２月26日㈬	社会福祉法人委員会、新会計基準セミナー後の個別相談会、東京会県会ブロック会議
３月３日㈪	山下勝矢議員県議会質問傍聴、社会福祉法人委員会、新会計基準セミナー後の個別相談会
３月12日㈬	関東財務局主催「リレバン・ワークショップ」
3月18日㈫、20日㈭	DVD研修会「倫理規則の改正に影響する国際会計士倫理基準審議会の最近の動向」「2014年３月期企業決算作成実務研修会」
３月20日㈭	正副会長会議
３月24日㈪	公会計委員会勉強会「公会計改革の現状報告」「埼玉県における公会計の活用実態と行政への適合性」
３月27日㈭	NPO法人委員会（第１回）
３月28日㈮	定例常任幹事会、東京会地区会長会議、役員会

平成26年度　中間事業報告

（H26．4．1～H26.11.30）

1．会員及び準会員数（平成26年11月30日現在）

会　　員	６３６名
準　会　員	１５９名
合　　計	７９５名
登録住所地会員	５４名

物故会員	保坂　圭作　殿（平成26年４月12日） 佐々木　武　殿（平成26年５月19日） 塚原　昭二　殿（平成26年６月25日） 高橋　昌男　殿（平成26年10月19日）

2．事業報告（及び活動報告）

平成26年

４月７日(月)	埼玉りそな銀行融資企画部訪問
４月15日(火)	各委員会による埼玉県庁表敬訪問（学校法人、社会福祉法人、NPO法人） さいたま市表敬訪問
４月16日(水)	埼玉県私立学校助成審議会委員候補者の推薦
４月20日(日)	親睦ゴルフ大会（平成倶楽部鉢形状コース）
４月21日(月)	定例常任幹事会
４月23日(水)	日高市へ公認会計士の推薦 東京会役員会、地区会長会議、県会ブロック会議
4月23日(水)～24日(木)	DVD研修会「監査事例研修会」
４月25日(金)	埼玉県消費生活課と面談
４月28日(月)	埼玉県消費生活協同組合検査員の推薦 埼玉県割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員の推薦
５月１日(木)	ふじみ野市指定管理者選定委員会委員の推薦
５月２日(金)	監事監査
５月８日(木)	さいたま市総務部総務課と面談
５月12日(月)	定例常任幹事会
５月22日(木)	研修委員会（平成26年度第１回）
５月23日(金)	第４回彩の国中小企業支援ネットワーク会議
５月28日(水)	子ども・子育て支援制度説明会
5月28日(水)～29日(木)	DVD研修会「監査事例研修会」 「事業再編促進税制及びベンチャー投資促進税制」
６月２日(月)	東京会と打ち合わせ
６月４日(水)	埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
６月９日(月)	定例常任幹事会
６月12日(木)	東京会地区会長懇談会
６月17日(火)	越谷市企画部行政管理課と面談 関東財務局との意見交換会
６月21日(土)	役員会、定期総会、懇親会 定例研修会「品質管理レビュー制度とその見直しの概要」
６月24日(火)	NPO法人委員会研修会 「NPO法人ガイドブック（手引き）に基づく研修」 北関東防衛局と面談
６月25日(水)	北関東防衛局へ入札監視委員会委員の推薦
６月30日(月)	東京会役員会、定期総会
７月１日(火)	社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第１回） 「社会福祉法人の新会計基準」に関するセミナー
７月４日(金)	埼玉友好士業協議会定例会・懇親会 中小企業診断協会と打ち合わせ
７月９日(水)	本部定期総会（ライブ配信） りそな銀行、埼玉県都市整備部公園スタジアム課と面談
７月14日(月)	正副会長会議 学校法人委員会（平成26年度第１回）および検討会
７月16日(水)	平成26年度埼玉県県営公園指定管理者選定委員会委員の推薦、吉川市指定管理者候補者の財務諸表等の審査に係る公認会計士の推薦
７月17日(木)	東京会中小企業支援コンベンション
7月18日(金)～20日(日)	長崎親睦旅行
７月23日(水)	埼玉友好士業協議会第１回幹事会
７月25日(金)	埼玉県信用保証協会と面談
７月29日(火)	社会福祉法人委員会　新会計基準セミナー後の個別相談会
７月31日(木)	東京会県会ブロック会議

平成26年

８月１日(金)	東京CPAニュース取材
８月４日(月)	社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第２回）
8月7日(木)～8日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
８月８日(金)	越谷市長表敬訪問
８月21日(木)	関東財務局総務課長と面談
８月22日(金)	東京会埼玉会（仮称）設立準備委員会 埼玉県総務部学事課へ講師の推薦
8月21日(木)～22日(金)	協会本部夏季全国研修会（ライブ配信）
８月28日(木)	武蔵野銀行本店訪問、関東財務局主催講演会 東京会地区会長会議
９月１日(月)	正副会長会議、埼玉友好士業協議会さいたま市長訪問
９月３日(水)	社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第３回） 東京会県会ブロック会議
９月４日(木)	研究大会東京大会
９月10日(水)	企業再建・継承コンサルタント協同組合、東京中小企業投資育成㈱
９月11日(木)	定例常任幹事会
９月19日(金)	中小企業診断協会との協議会及び懇親会、東京会役員会
９月21日(日)	埼玉県会親睦ゴルフ会（於：大宮国際カントリークラブ）
９月24日(水)	埼玉友好士業協議会第２回幹事会 社会福祉法人委員会　新会計基準セミナー後の個別相談会
９月26日(金)	埼玉県へ指定管理者候補者選定委員の推薦
９月29日(月)	埼玉新聞社と面談
10月１日(水)	関東財務局との意見交換会及び懇親会
10月２日(木)	埼玉会（仮称）設立準備委員会全体会議（第１回） 新入会員歓迎の集い（活動報告会、懇親会）
10月７日(火)	社会福祉法人委員会外部向けセミナー（第４回） 国税不服審判所と面談、（独行）国立女性教育会館へ監事候補者の推薦（東京会より）
10月10日(金)	DVD研修会「子ども・子育て支援新制度について説明会及び同連絡会」
10月11日(土)	巡回研修会川越大会「コミュニケーション能力」、懇親会
10月15日(水)	DVD研修会「子ども・子育て支援新制度について説明会及び同連絡会」、東京会県会ブロック研修会
10月16日(木)	埼玉新聞創刊70周年記念式典
10月17日(金)	学校法人委員会検討会
10月20日(月)	埼玉県監査事務局との共催による埼玉県職員向け公会計研修会
10月21日(火)	第６回彩の国中小企業ネットワーク会議
10月22日(水)	定例常任幹事会
10月22日(水)～24日(金)	協会本部秋季全国研修会（ライブ配信）
10月24日(金)	広報委員会（埼玉県会CPAニュース編集会議）
10月28日(火)	東京会による県会事務所訪問
10月31日(金)	越谷市と面談
11月２日(日)	日本スリーデーマーチ（東松山）、懇親会
11月８日(土)	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」
11月13日(木)	埼玉会（仮称）設立準備委員会コア会議（第１回）
11月18日(火)	川口信用金庫と面談
11月20日(木)	推薦委員会
11月26日(水)	東京会県会ブロック会議
11月27日(木)	埼玉県改革推進課と面談
11月28日(金)	越谷市へ包括外部監査人候補者の推薦

■ 定期総会 ■

土屋文実男

平成25年度定期総会は昨年度６月21日（土）に埼玉県会研修室及び６Ｆの602会議室において午後１時15分から120名の出席者を得て開催されました。

同総会は工藤常任幹事の司会で進められ、議事は小山会長が議長となって進行されました。

１．審議事項

総務担当副会長の私が以下の①と②及び③と④の議案についてそれぞれ一括して説明を行い、⑤については幹事改選の件として説明を行いました。

①平成25年度会務報告

②平成25年度収支計算書

③平成26年度事業計画

④平成26年度収支予算書

⑤役員退任・改選

なお、監事を代表して櫻井監事より、収支計算書及び財産目録は適正である旨の監査報告が行われました。

このうち⑤については、小山議長より、河合あゆみ幹事が埼玉県会から移転することになり埼玉県会の幹事を辞任したい旨の連絡があったことを説明し、替りに森山謙一会員を幹事に推薦したい旨の説明を行った結果、満場一致でご承認いただきました。

全ての事項について出席会員皆様の慎重な審議を経た上でご承認をいただき、西川副会長の開会の辞をもって無事平成25年度定期総会が終了しました。

引き続き、午後２時30分より柳澤東京会会長より挨拶が行われた後、埼玉県会の副会長及び各委員会委員長の紹介及び挨拶が行われました。

休憩を挟んで、午後３時より定例研修会が行われました。「『品質管理レビュー制度のあり方見直しについて』とそれに基づく改正案の概要等」と題して本部副会長である関根愛子氏を講師にお招きして熱心な講義をしていただきました。

さらに、17時過ぎより30分弱の時間で、淺井万富東京会副会長より東京会の会務報告が行われました。

その後、18時より懇親会が開催されました。懇親会は、高島常任幹事の司会のもと終始和やかな雰囲気の中で進められ、小山会長の挨拶、来賓の方々のご紹介・ご挨拶、蛭川顧問の乾杯の音頭と続き、しばしの歓談の後、宮原顧問の中締めで終了しました。

懇親会に出席していただいたご来賓の方々は以下のとおりです。

鈴木　昌治　本部副会長
関根　愛子　本部副会長（講師）
酒井　宏暢　本部常任理事
中村　元彦　本部常任理事
山崎　彰三　元本部会長
淺井　万富　東京会副会長
岡田　敏男　千葉県会会長
田中　昌夫　千葉県会副会長
荻原　延高　東京会事務局課長

■ 越谷市長表敬訪問 ■

長谷川俊晴

新年あけましておめでとうございます。

越谷市は、今年度から中核市へ昇格します。

それに伴い埼玉県会としましても越谷市の包括外部監査を引き受けるべく、平成23年・24年に続き昨年も８月に越谷市長を表敬訪問してまいりました。

埼玉県会からは小山会長をはじめ副会長の方々にもご参加いただき、また、越谷市の公認会計士は私を含めて３名参加致しました。

おかげ様で、越谷市より埼玉県会へ包括外部監査人候補者の推薦依頼を頂き、埼玉県会では１名の会員を推薦いたしました。

■ 埼玉県中小企業診断協会協議会 ■

西川　正純

９月19日（金）に埼玉県会研修室において埼玉県友好士業協議会のメンバーである埼玉県中小企業診断協会と「埼玉県中小企業診断協会と日本公認会計士協会埼玉県会との協議会」を開催いたしました。

協議会では、埼玉県会小山会長に続き、埼玉県中小企業診断協会高澤会長よりごあいさつをいただきました。続いて各会の活動の紹介を兼ねたプレゼンテーションと質疑応答がそれぞれの会より行われ、両会の業務分野での協力についての方向性が見られました。

その後、会場を東天紅大宮店に移しての懇親会では、当会より23名、埼玉県中小企業診断協会より16名の役員が出席し、今後の両会の交流活動について有意義な意見交換となりました。

今後は、一般会員を対象にした研修会の共同開催や研修会後の懇親会を行い、これらを通じて両会会員間の交流が、県会会員の業務拡大への結びつけていけるよう考えています。

埼玉県のマスコット　コバトン

■ 巡回研修会川越大会 ■

猪鼻　正彦

今年度の川越研修は10月11日（土）に開催しました。テーマは「コミュニケーション能力」です。講師はコミュニケーションコンサルタントの中辰哉氏にお願いしました。中さんはマジシャンでもあり、最初にトランプを使ったマジックを披露して下さいました。

講義内容は、自己重要感の法則をベースに、成約率が上がるクロージングの法則、心を読み取る法則や、質量転換の法則などコミュニケーションに必要なマインドセット、言葉の選び方、テクニック等、心を誘導する技術でした。中さんの話術の巧みさに加え、講義を一方的に聞くのではなく、二人ずつペアになって相手の話を聞く練習もあり、とても楽しい研修となりました。

相手の心をつかむ10の魔法の言葉はさっそく皆さん使っていると思われます。その言葉の詳細は、今回の研修に参加した方のためにここでは秘密とします。小山会長ほか役員の方も参加されていましたので、埼玉県会のコミュニケーションはますます良くなるものと思われます。

研修後の懇親会にも中さんにご参加頂きましたが、「気」の話もしていただき、おかげさまで、その後寝付きが良くなった方もおられるようです。また、名刺入れを使ったマジックも教えて頂きましたが、これをマスターできた方はどのくらいおられるか興味があります。

川越研修名物「山崎ハイボール」はもちろん、NHKの朝ドラの影響で竹鶴ハイボールも飲み放題で盛り上がりました。

■ 新入会員歓迎の集い及び埼玉県会活動報告会 ■

飯野　浩一

埼玉県会に新たに加入された会員を対象に、標記の事業が下記のとおり、実施されました。

日　時：平成26年10月２日18時～19時30分、その後懇親会

場　所：埼玉県会研修室、東天紅JACK大宮店

当日は、20名ほどの新入会員が参加され、小山会長のご挨拶の後、埼玉県会役員と参加新入会員それぞれが自己紹介を行いました。

その後、土屋副会長から埼玉県会の全般的な活動報告、今後の予定説明が行われ、引き続き各委員会委員長から各委員会の活動報告及び今後の予定説明が行われました。研修会への参加をはじめ、積極的に埼玉県会の様々な活動に参加していただき、地域に貢献し業務に役立てていただきたい旨の話がなされました。

質疑応答の後、平成24年度及び平成25年度の埼玉県包括外部監査人であった佐久間副会長から、埼玉県包括外部監査概要の説明が行われました。参加された新入会員に限らず当日の参加者の多くが、佐久間副会長の体験談を真剣に聞き入りました。

その後は、場所を移し、東天紅JACK大宮店にて懇親会を行い、中華料理を食べながら、老若男女、様々な話題で懇親を深めることができました。

埼玉県会への新入会員は今後も増加していくことが想定されます。今後も継続的に実施できるよう企画してまいります。

■ 埼玉県会親睦旅行 ■

深谷　豊

県会の親睦旅行も毎年恒例となりましたが、今回は国内の長崎でした。日程は平成26年７月18日から３日間で、参加者は18名でうち女性２名、年代は若手30代から最高齢者の90歳まで、まさに老若男女のメンバー構成でした。１日目、２日目は全員で観光、３日目の最終日はゴルフ組と観光組に分かれての旅程でした。

それでは旅行の内容を簡単にご説明します。初日は羽田を発って10時過ぎくらいに長崎空港に到着し、そのまま観光バスにて最初の予定地である「長崎ハウステンボス」へと向かいました。到着後ホテル日航内で昼食をとり、５時まで各自自由にハウステンボス内を散策しました。「ハウステンボス」はオランダ語で「森の家」という意味です。現在オランダのベアトリクス女王陛下が住んでいる宮殿「パレスハウステンボス」を忠実に再現する許可をいただいたところから命名されたということです。広さは東京ドーム33個分、東京ディズニーランドの約２倍と思った以上に広いものでした。各人適当にグループとなりそれぞれのお目当てを中心に適当に散策しました。記憶としては天気が良すぎてしばらく歩いては建物内で涼んでいたことを覚えています。個人的には冷房の利いた観覧車で涼みながら園内を一望できたことは印象に残っています。その後はバスで１時間半程度をかけて長崎市内まで移動して夕飯は長崎名物の「卓袱（しっぽく）料理」をいただきました。バスガイドさんによれば、長崎は「和華蘭文化」だそうです。「和」は和、「華」中華の華、「蘭」はオランダの蘭です。その典型ともいえるのが卓袱料理で、中国料理や西欧料理が日本化した宴会料理の一種です。長崎市を発祥の地とし、大皿に盛られたコース料理を、円卓を囲んで味わうもので、和食、中華、洋食の要素が互いに交じり合っていることから、和華蘭（わからん）料理とも評されます。

２日目は10時にホテルを出て南山手を散策しました。「オランダ坂」から「大浦天主堂」、「グラバー園」といった観光メッカを見て回りましたが、オランダ坂が思わず小さかったこと、またその坂はある女子大の通学路になっていることには驚きでした。また大浦天主堂は鎖国が終わった後、フランス人により建てられた礼拝堂で日本最古の木造ゴシック建築で国宝（西洋建築の国宝はこれが日本唯一）、個人的には十字架のキリストと横に立つ聖母マリアのステンドグラスがとてもきれいでした。正式名称は日本二十六聖殉教者天主堂といいキリシタン弾圧に絡んだ感動のエピソードがあるそうです。そのすぐ近くにあるグラバー園はグラバーというイギリスの貿易商が建てた屋敷と庭園で国指定重要文化財・現存する日本最古の木造洋館だそうです。エピソードとしては、グラバー邸には天井の隠し部屋があり、幕末志士を緊急の時に隠したと言われています。坂本竜馬がフランス式新型銃をグラバーさんを通じて輸入し長州藩に売却したとされています。

昼食ではもう一つの名物である「長崎ちゃんぽん」をいただきました。大皿のちゃんぽんを各人で取り分けて食べましたがご当地だけあっておいしかったです。そして午後の観光は、「眼鏡橋」、「出島跡」とやはり名所旧跡を訪ねました。出島跡の周辺は江戸時代は海でしたが現在では陸地になっていました。竜馬率いる海援隊が取引に訪れた石倉をはじめ15の建物が既に復元されており建物の中を観光できます。

さていよいよ最終日ですが、ゴルフ組は海に囲まれて長崎一の名門と言われる「パサージュ琴海GC」にてゴルフを、また観光組は最近話題になっている「軍艦島」観光や坂本竜馬足跡巡りにとそれぞれ楽しい時間を過ごしました。それにしても楽しい時間は短いものでそれぞれの思い出を胸に長崎を後にしました。

今年もこれ以上楽しい旅行を企画したいと思いますので、次回の親睦旅行には是非ご参加を検討していただければ幸いです。

■ スリーデーマーチ ■

芳原　勝伸

毎年、県会では、東松山のスリーデーマーチと言うウォーキング大会に参加しています。東松山スリーデーマーチは、日本最大のウォーキング大会で、海外の方々も多く参加しています。

当日、出発地点や経過地点では、出店が立ち並び、東松山名物の味噌だれ焼きとん（串焼き豚肉）や、ウォーキング用品等を販売しています。私は２回目の参加で、前回はラーメンを食べたので、今回は味噌たれ焼きとんを食べました。目の前で炭火焼きしていたので、美味しかったです。

県会では、ほとんどの人が10キロコースで参加しています。当日、10時前に出発して、昼は森林公園でお弁当を食べました。昼食で１時間くらい休憩して、14時半くらいにゴールです。歩くコースも、中間地点の森林公園も、紅葉が綺麗で景色を楽しめます。

かなりゆっくり、皆で雑談しながら歩くので、普段あまり歩かない方でも参加できました。

ウォーキング大会の後は、近所のお店で懇親会がありました。毎年20人前後の少人数の参加で、ウォーキング中も懇親会でも、１日中、皆で雑談していますので、初めての方でも仲良くなれます。

県会の雰囲気は、重苦しい感じは無く、明るい感じです。まだ県会の活動に参加したことの無い方も、来年は、お試しで参加してみてください。そして、県会の雰囲気を気に入っていただけましたら、是非、研修や委員会等、他の活動にも参加してみてください。

■ 行事写真集 ■

社会福祉法人委員会
外部向けセミナー
2014.2.12、2.19、7.1
8.4、9.3、10.7

東京 CPA ニュース取材
2014.8.1

新入会員歓迎の集い
2014.10.2

中小企業診断協会との
協議会・懇親会
2014.9.19

長崎親睦旅行　2014.7.18～20

Day 1

初日は長崎随一の観光名所「ハウステンボス」へ

Day 2

２日目前半は「オランダ坂」「大浦天主堂」「グラバー園」を観光

２日目午後は「眼鏡橋」を観光＋夜景も満喫！

Day 3

３日目はゴルフ組は「パサージュ琴海GC」へ

それ以外は「軍艦島」と「平和祈念像」を観光

総務

副会長
土屋文実男

新年明けましておめでとうございます。

埼玉県会の会員皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、私が小山会長のもとで副会長として総務を担当させて頂くようになって３年目に入りました。

埼玉県会の地域会化においては、協会本部理事会の承認を得て、設立準備委員会が組織されました。地域会化に向けてスタートを切った年と言えます。設立準備委員会には、若くフレッシュな会員も多く参加しており、新鮮なアイデアを積極的に提案していただけるものと信じております。

会員の皆様には、適時に地域会化についての情報をお知らせし意見をお聞きしたいと思います。そのためには、会員の皆様の積極的な参加が必要不可欠であります。本年も会員皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

推　薦　状　況

推薦月	団　体　名	内　　容	人数等
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	７名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名（登録）
	さいたま市産業創造財団	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名（登録）
平成25年４月～26年３月			
４月	埼玉県県民生活部	埼玉県消費生活協同組合検査員候補者	１名
		割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員	１名
	さいたま市	さいたま市入札監視・苦情検討委員会委員	１名
	さいたま地方裁判所	民事調停委員候補者	１名
５月	公益財団法人埼玉県健康づくり事業団	公益財団法人埼玉県健康づくり事業団監事	１名
６月	深谷市	深谷市外部評価委員	１名
	さいたま市	監査委員候補者	１名
	埼玉県県民生活部	埼玉県平和資料館アドバイザリーボード候補者	１名
	埼玉県都市整備部	平成25年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	１名
７月	埼玉県・川越市	埼玉県西部地域ふれあい拠点施設及び川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設指定管理者候補者選定委員会委員	１名
	独立行政法人水資源機構	公認会計士	１名
８月	埼玉県教育委員会	さいたま文学館及び桶川市民ホール指定管理者候補者選定委員会委員	１名
	川越市	社会福祉法人新会計基準に係る会計実務研修講師	１名
	埼玉県信用保証協会	創業・再挑戦・再生審査会委員	１名
９月	埼玉県総務部	埼玉県公益法人認定等審議会の委員改選に伴う委員候補者	１名
	埼玉県	包括外部監査人	１名 ２法人
10月	埼玉県都市整備部	埼玉県住宅供給公社監事候補者	１名
12月	川越市	包括外部監査人	１名
	埼玉県企画財政部	指定管理者運営状況検証委員会委員	１名
	さいたま市	さいたま市下水道事業審議会委員	１名
	（独行）農林水産消費安全技術センター	契約監視委員会委員	１名
１月	埼玉県福祉部	平成25年度社会福祉施設等監査指導に係る公認会計士	１名
	埼玉県警察本部	財務捜査官候補者	１名
２月	所沢市	入札監視委員会委員	１名
	（福）埼玉県社会福祉事業団	監事	１名
	埼玉県保健医療部	公立大学法人埼玉県立大学監事	１名
３月	所沢市	指定管理者選定委員会委員	３名
	（公社）埼玉県農林公社	会計監査に係る公認会計士又は監査法人	３名
平成26年４月～			
４月	埼玉県	埼玉県私立学校助成審議会委員候補者	１名
	日高市	体育施設等指定管理者候補者選定に係る公認会計士	２名
	埼玉県県民生活部	埼玉県消費生活協同組合検査員候補者	２名
		割賦販売法に基づき立入検査を行う検査員	１名
５月	ふじみ野市	指定管理者選定委員会委員	１名
６月	北関東防衛局	入札監視委員会委員	１名
７月	埼玉県都市整備部	平成26年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	１名
	吉川市	指定管理候補者の財務諸表等の審査にかかる公認会計士	１名
８月	埼玉県総務部	講師	１名
９月	埼玉県	指定管理者候補者選定委員	１名
10月	（独行）国立女性教育会館	監事候補者　（東京会より推薦）	１名
11月	越谷市	包括外部監査人候補者	１名

業務

副会長
西川　正純

あけましておめでとうございます。県会会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、東京会の中小企業支援対応プロジェクトチームとの連携により、東京会担当者とともに、県会会長をはじめ数人の役員が埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用王金庫、青木信用金庫を訪問し、東京会が運営する「金融機関と認定経営革新等支援機関である会員との連携推進制度」の覚書を３金融機関と締結することに協力しました。

また、県内中小企業支援に向けた埼玉県信用保証協会の専門家派遣等に県会公認会計士の活用を進めるよう協議を進めています。

その他、「埼玉県中小企業支援ネットワーク会議（埼玉県信用保証協会主催）」や「金融庁による業務説明及び意見交換会（関東財務局）」に役員が出席、また、埼玉友好士業協議会主催の「暮らしと事業のよろず相談会」には、昨年も相談員として４名の会員を派遣しました。

今年も会員の業務拡大につながるよう進めていきたいと思っております。

親睦

副会長
深谷　　豊

新年明けましておめでとうございます。

親睦活動としては、年３回の県会親睦ゴルフ、夏の親睦旅行（昨年は長崎ハウステンボスなど、詳しくは別紙の親睦旅行欄をご参照ください。）、秋の東松山市での日本スリーデーマーチ（参加者約20名）など一年を通じて充実した活動ができたのではないかと感じております。

本年の親睦旅行はこれまでの暑い夏を避けて秋の実施を予定しています。旅行には一番の季節でもあり初めての方も振るってご参加をお待ちしてます。

いずれにしても数ある県会の中でも団結力は随一と自負しておりますので、本年も和気あいあいとした楽しい親睦活動を通じて、風通しのいい埼玉県会を目指して活動していきたいと思っています。どうぞ皆様会員の積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

親睦ゴルフコンペ案内をご希望の会員の方は、埼玉県会へその旨ご連絡下さい。以降コンペ案内をFAX致します。心より皆様のご参加をお待ちしております。

また、上記以外にも新たな同好会のリクエストがあり

ましたら検討させていただきますので、どうぞご提案いただきたいと思います。

広報

副会長
佐久間仁志

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと御喜び申し上げます。年1回の埼玉県CPAニュース、県会ホームページを中心とした会計士業務のPR活動は、広報委員会が企画実施しております。

地域会化が現実の目標となり、広報活動の重要性が一層増してきておりますので、委員の一人一人が重要な使命感をもって活動に取り組んでいく所存であります。地域会化を踏まえ、埼玉県CPAニュースの発行回数を増やすことの検討・環境整備を行い、「地域社会に貢献する」埼玉県会の役割、重要性をより積極的にアピールしていきます。さらに、新聞企画記事等の活用を通じて、埼玉県民の皆様に対して埼玉県会並びに会計士業務をPRしていきます。埼玉県会の地域社会へのアピールにつきましては、昨年同様、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

研修

副会長
平山　孔嗣

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、お陰様で県会研修室も総会時、年末時には入りきれないほどの盛況となりました。本部研修の配信も定着し、各種委員会主催研修、DVD研修などの開催により、皆様のCPE取得への利便性をより高めることに努めてまいりました。県会も飛躍を目前とし、研修に関しましても、各地域会にも劣らない質を維持するため、定例研修会、川越をはじめとする県内各地域での研修会、情勢変化に応じたタイムリーな内容の研修会に加え、必修科目が受講しやすいようなスケジュール設定、各種委員会の成果の発表、県会会員が企画し、会員同志が高め合うような研修の実施も含め、一層の充実を図ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

2015年予定

2月10日　学校法人　非営利法人関係研修
2月19日　公益法人等委員会研修会
6月17日　総会時研修会
10月中旬　川越研修
11月中旬　越谷研修
12月中旬　年末研修
適時　各種委員会主催研修

事務局

池本　和子
井原　紀子

新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様にご満足いただけるようサービスのより一層の向上を念頭に、平成28年4月の地域会化に向け全力で取り組んでまいります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

平成26年度　研修会実績及び予定

月　日	テ　ー　マ	場　所	参加者	講師名	単位
4月23・24日	DVD研修会（監査事例研修会）	県会研修室	25	集合研修DVD	3
5月28日	DVD研修会（監査事例研修会・事業再編促進税制及びベンチャー投資促進税制）	県会研修室	11	集合研修DVD	※5
5月29日	同　上	県会研修室	25	集合研修DVD	※5
6月21日	定期総会・研修会「『品質管理レビュー制度とその見直しの概要～「品質管理レビュー制度のあり方見直しについての提言」とそれに基づく改正案の概要等～』	県会研修室他	120	関根　愛子氏	4
6月24日	NPO法人研修会	県会研修室他	32	埼玉県共助社会づくり課	2
7月9日	本部定期総会	県会研修室	39	（ライブ配信）	4
8月7～8日	本部夏季全国研修会①	県会研修室	74	（ライブ配信）	12
8月21～22日	本部夏季全国研修会②	県会研修室	70	（ライブ配信）	12
10月10日	DVD研修会（子ども・子育て支援新制度について説明会及び同連絡会）	県会研修室	18	集合研修DVD	2
10月11日	巡回研修会川越大会「コミュニケーション能力」	東上パールビル	29	中　辰哉氏	3
10月15日	DVD研修会（子ども・子育て支援新制度について説明会及び同連絡会）	県会研修室	10	集合研修DVD	2
10月22～24日	本部秋季全国研修会	県会研修室	17	（ライブ配信）	18
12月10～12日	本部冬季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
12月13日	定例研修会 ①「相続税法上の時価と鑑定評価」 ②「我が国の財政問題について～社会保障と税の一体改革～」	県会研修室		河野　栄一氏 佐藤　正之氏	4
12月25日	NPO法人研修会・公会計研修会	県会研修室		深谷豊氏、他	4
1月23日	本部新春全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	6
2月4～6日	本部春季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
2月10日	定例研修会 （学校法人・社会福祉法人会計他）	ソニックシティ国際会議室		埼玉県学事課、福祉監査課、他	4
2月19日	公益法人等委員会研修会	県会研修室		委員会委員	3
3月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	2
	※は同一内容につきCPE5でカウント			平成26年度合計	123

平成27年度以降　予　定

月　日	テ　ー　マ	場　所	参加者	講師名	単位
4月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
5月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
6月17日	定期総会・研修会（テーマ未定）	県会研修室		未定	未定
7月21日	本部定期総会	県会研修室		（ライブ配信）	4
8月20～21日	本部夏季全国研修会①	県会研修室		（ライブ配信）	12
8月27～28日	本部夏季全国研修会②	県会研修室		（ライブ配信）	12
9月未定	DVD研修会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	未定
10月21～23日	本部秋季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
10月中旬	巡回研修会川越大会（テーマ未定）	未定		未定	未定
11月中旬	巡回研修会越谷大会（テーマ未定）	未定		未定	未定
12月9～11日	本部冬季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
12月中旬	定例研修会（テーマ未定）	県会研修室		未定	4

公会計委員会

委員長　飯野　浩一

公会計員会は、会員が監査委員や包括外部監査、各種行政委員等として実務に携わる際、なじみの薄い公会計業務に対し専門家としての法令、会計基準、実務状況等を基礎から学ぶことを目的として立ち上げられました。

総務省は昨年４月に新時代に対応するため、遂に単式の公会計から複式の発生主義に基づく新公会計の方針を公開しました。多くの自治体ではこれから研究適用の段階ですが、先行している自治体の実例を研究し、その効果についても報告する予定です。

今後は、本部、東京会、地方公共団体関係者などとも連携し、実践的な公会計の役割から普及への方策、監査の対応への研究もしてまいります。

公認会計士が、企業会計だけでなく、公会計という分野において先導的立場に立ち、地域に貢献できうるような企画をしてまいりたいと思います。

学校法人委員会

委員長　西川　正純

学校法人委員会では、昨年は埼玉県学事課と「新学校法人会計基準」と「幼稚園に対する指導監査」をテーマに２回の学校法人会計検討会を開催しました。検討会では、主に「財務計算書類標準記載科目の設定について（通知）」、「学校法人経理規程作成例「学校法人〇〇学園経理規程」」の見直しについて、会計専門家として学事課の相談を受けるなど埼玉県の幼稚園指導に対する支援を行ってきました。

また、埼玉県学事課主催の私立幼稚園事務研修会に学校法人委員会委員より講師を派遣し、「公認会計士からみた幼稚園経営の課題」というテーマで、直接県内私立幼稚園に公認会計士と会計監査について、また、子ども子育て支援制度における公認会計士の役割について説明を行いました。

昨年も２月３日に学事課より講師を招き、幼稚園の指導監査状況について県会研修室で75名の会員の出席のもと研修会を開催しました。今年は２月10日（火）に研修会を県会研修室にて開催いたします。昨年は研修室の座席の関係上、やむなくお断りした会員の方が生じてしまい申し訳ありませんでした。今年は、県会会員のみでなく埼玉県内の幼稚園を監査されている近隣の東京会会員の方にもご参加いただけるよう、会場をソニック国際会議室に移し開催いたします。

公益法人等委員会

委員長　工藤　道弘

公益法人等委員会の基本的な活動方針の一つとして、地域貢献を掲げております。この具体的な内容に、埼玉県の出資法人に対する監査対応があります。この監査は、いわゆる一般法及び認定法に基づく法定監査ではありませんが、埼玉県の要請に基づく会計監査であり、法定監査に準ずるものと認識しております。

公益法人会計は一般的にはあまり馴染のないものであるため、携わったことのないものにとってはハードルの高い分野となります。このため、公益法人監査に従事するための研修を開催し、各会員の公益法人に関してのレベルアップを図ることは、当委員会の重要な責務であります。

そこで、多くの会員が公益法人監査に関与できるように、初心者向けの研修を企画していきたいと考えております。当委員会が継続的な養成機関となることで、県の要請に的確に対応できる体制を築いていく所存です。

社会福祉法人委員会　委員長　大野　夏美

社会福祉法人委員会では、平成26年度は新会計基準に関する外部者セミナーを４回及び個別相談会を４回開催いたしました。このような実績を残すことができたのも、一重に委員の皆様、役員の先生方、そして何より、事務局の皆様のお力添えあってのことと、大変感謝いたしております。改めて、この場を通して御礼申し上げます。

来年度はどのような活動になるのか未定でありますが、行政との調整を行い、委員の皆様にとってより有益な活動となるよう工夫をしてゆこうと考えております。積極的なご意見がございましたら、ぜひ、お聞かせ下さいませ。

時はあっという間に過ぎてゆきますが、そのなかでいろいろなことを学び「自身にとって本当に大切なこと」は何なのか、それに気付けることが大切なんじゃないかしら?!と最近気付いたのんき者です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

研修委員会　委員長　猪鼻　正彦

当委員会は、埼玉県会の実施する研修の基本方針や年度の方針を検討する委員会です。今年度の研修委員会は、５月22日に開催し下記のようなことを話し合いました。

「①県会研修室にてCPE必要40単位をすべて取得できるように、研修会を主催する。②各委員会が企画する研修会との調整を図る。」という基本方針は従来と変わりませんが、平成26年度に関して特記すべき検討事項は下記のとおりです。

- 監査法人を退職したことなどにより新しく埼玉県会会員となられた方（新人）に埼玉県会の活動状況等を知っていただくための「新人研修」もしくは「懇親会」を実施する。ちなみに前回の新人研修は３年前。
- 外部者に講師依頼をするだけではなく、各委員会において人材が育ってきたことに鑑み、委員会のメンバーに講師を務めていただきたい。
- 県会研修室で受講できる本部主催の全国研修会だけでも88単位が取得できるが、このことを知らない会員が多いと思われるので、案内を徹底する必要がある。
- 研修の司会を宮城委員に担当していただき、研修の合間のリフレッシュ体操を取り入れる。

広報委員会　委員長　小川千恵子

広報委員会は、埼玉県会CPAニュースや埼玉県会ウェブサイトを通じて、会員の業務に関する情報及び資料を提供し、また埼玉県会の地域会化後の公認会計士制度や監査制度並びに公認会計士業務を広く外部にPRしていく活動に対応していくことを目的としています。

平成26年度は、佐久間広報担当副会長、広報委員長及び３名の広報委員、合計５名で、主として本号埼玉県会CPAニュースの構成案作成、内容検討を行いました。地域会化後は埼玉県会CPAニュースの３ヶ月毎の発行を目指すとともに、埼玉県会ウェブサイトをさらに充実させていきたいと思っています。また、本部や東京会で実施している小中学生向け会計講座「ハロー！会計」や一般向けの講演会などの地域貢献活動も視野にいれて、活動していきたいと思っています。

NPO法人委員会

委員長　深谷　　豊

皆さんがご存知のようにNPO法人は、営利を目的とせず、災害支援、福祉、環境、教育、まちづくり等の市民による自由な社会貢献活動の発展を担う法人といえます。今の高齢化社会にあってただ単に収入を得る目的のためだけではなく、働き甲斐、生きがいを求めて社会のために働きたい受け皿としては最も重要な役割を担っており、今や欠くことのできない組織といえます。

NPO法人数は現在全国で約５万、うち税務上のメリットがある認定NPO法人は６百ほど存在します。埼玉県でも約２千のNPO法人が存在し、近年益々増加の一途をたどっております。東日本大震災における震災支援ではもとより、新聞、ニュース等でもNPO法人が話題にならない日はないほどです。

このように増加しているNPO法人に対して、私たち会計士としても今後において関与する機会はますます増えることと思われます。また、私たちは会計の専門家として社会貢献活動（プロボノ）も最近特に期待されてきているところであります。このような事情もあり委員会のメンバーも40名以上と関心の高さがうかがわれます。

これからもNPO法人会計基準の研修などNPO法人関係の有益な情報提供をしていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いします。

（これまでの経緯）

・H25.12.9　NPO法人委員会立ち上げ
・H26.3.27　第１回NPO法人委員会開催
・H26.4.16　県庁共助社会づくり課表敬訪問
・H26.6.24　埼玉県共助社会づくり課による出前講座（NPO法人の概要）
・H26.12.25　NPO法人の会計について（NPO法人会計基準を中心として）研修

税務委員会

委員長　佐久間仁志

税務委員会は、次の目的を達成するために平成26年３月28日の常任幹事会の承認により立ち上がりました。

①　会員の税務研修の単位２単位を保証するように年間数回の研修を実施する。
②　会員の税務業務に係る知識補充と情報交換に資する。
③　会員の税務業務に係る社会環境を改善するための諸活動を行う。

しかし、昨年は、委員会の企画についての会議のみが行われ、研修等の具体的な活動は実施できませんでした。

今年度は、活動実績のなかったことを十分に反省し、まずは３月までに税務の研修を実施し、CPEの必修である税務研修２単位を保証する機会を会員の皆様に提供するとともに、今後、年間に２～３回の研修を実施していく所存であります。また、関東信越国税局等関係機関への表敬訪問等も実施したいと考えております。

私の故郷　～長野県上田市～

森山　謙一

現在、私は埼玉県さいたま市に住んでおりますが、出身は長野県上田市というところで、高校を卒業するまではそちらに住んでおりました。そこで、生まれ育った故郷につきまして少しですがご紹介したいと思います。

全国的にはけして有名な観光地ということではないのですが、夏はスポーツなどの合宿地となることが多く冬はスキーなどもできる菅平高原があり、別所温泉という温泉場もあるという地域ですので、お仕事関係では無くとも、ご旅行などではお越し頂いたことのある方もいらっしゃるのではないでしょうか。

別所温泉は「信州の鎌倉」と言われており、温泉だけでなく周辺一帯に多くの文化財が残されている地域でありまして、国宝に指定されている八角三重塔がある安楽寺や、重要文化財に指定されている三重塔のある前山寺、名前が、善光寺と向かい合うように本堂が北を向いていることからきている北向観音（きたむきかんのん）など多くの神社仏閣を見ることができます。温泉場でありますので、昔から多く観光客の方で賑わっております。

上田市内はといいますと、以前はそれほど観光される方は多くなかったのですが、近年のテレビゲームやアニメの影響による戦国時代・武将ブームによって、真田幸村の人気が高まっており、真田家の居城でありました上田城跡を目的に、たくさん観光客の方々がいらっしゃっております。特に数年前までは「歴女」と呼ばれる歴史や戦国武将好きの女性の方々が多くいらっしゃっておりました。しかし、ここ数年は「歴女」の方々の人数は全体的に落ち着きまして、年配の方を中心に日本中から多くの観光客がいらっしゃっているそうです。長野市にあります善光寺参りをされたついでに寄られる方も多いようです。

上田城跡で行われている真田祭りでは、赤備えの鎧武者達が繰り出し、実際に火縄銃を打ったりもしています。私が子供の頃には、このお祭りでここまでのデモンストレーションは行われておりませんでしたので、観光客数増加の影響力は大きいなと実感しております。

2016年のNHK大河ドラマのテーマにも真田幸村（『真田丸』）が選ばれ、地元ではそのキャスティングや内容についていろいろと盛り上がっているようです。タイトルから判断しますと、真田幸村の後半生が中心になるかと想像されますが、上田時代や真田十勇士などをどのように描いて頂けるのか、今からとても楽しみにしております。

また、上田城跡は桜の名所として地元では有名で、「上田城千本桜」として様々なイベントも行われています。夜になるとライトアップもされて、夜桜も楽しめるようになっています。

私の父親はこの上田城跡である上田公園というところで「シャッターマン」という、観光客の方に頼まれれば記念写真を撮るお手伝いをしたり、観光スポットの案内などをするボランティアをやっておりますが、その父親が観光客の方から受けて一番困ってしまう質問があるそうです。それは、

「他に観るところはありますか？」

だそうです。いつも答えに困っているそうです。

そんな見どころたっぷりの（笑）、長野県上田市ですが、機会がありましたらぜひお越し頂ければと思います。

料理の醍醐味

金子　由里子

小さいころから、時々、母のお手伝いをして料理を楽しんできました。元来食いしん坊の私は美味しいものを食べるのも作るのも大好きです。今から10年ほど前に、本格的な料理教室に通い始めました。料理教室に通うまで母の見様見真似で料理をしていたのですが、どうせ作るならもっと美味しいものを作りたいと思い、ホテルに併設されているクッキングスクールに通いました。このクッキングスクールはホテルのシェフが直接指導してくださるのでプロの技に直接触れることができました。最初は鶏ガラスープの取り方など料理の基本を一から学びました。鶏ガラスープは切った野菜をフライパンで炒め、炒めた野菜と鶏ガラを何時間も煮込むのでとても手間と時間のかかる作業です。しかし、手間をかけた鶏ガラスープで作るカレーライスやハッシュド・ビーフのなんと美味しいことか。この鶏ガラスープを作るためにホテルの厨房では一流シェフを夢見る新人コックが一日中野菜を切るそうです。カレーライスひとつにこれだけの手間と時間がかかるのかとホテルのレストランのカレーライスの高額な値段に納得しました。ホテルのクッキングスクールで習った料理をすべて自宅で料理するのは大変でした。材料を集めるだけでも一苦労です。一方、ホテルのクッキングスクールに通ったおかげで、料理をする際に少しずつ工夫をすることができるようになりました。それまではレシピに忠実に作ることで美味しく料理を作れると思っていたのですが、材料が揃わない時など他の食材で代用するなどの応用が効くようになりました。また、代用した食材についてクッキングスクールで質問するなどクッキングスクールを大いに活用しました。

その後ニューヨークに生活の拠点を移し、生活環境が変わってからは自分の思うように料理が作れないジレンマが続きました。最初に戸惑ったのは買い物です。アメリカは国内だけでなく南米や中米から多種多様な野菜が入ってきます。スーパーでは見たこともない野菜がいっぱい並んでいて何を購入してよいか迷いました。ジャガイモだけでも５、６種類以上はありました。また、アメリカの野菜は大味で日本の野菜に比べて甘みがなく美味しく感じませんでした。改めて日本の農家の優秀さを実感しました。そこで、スーパーに並んでいる見たこともない食材を使って料理できるようになりたいと思い、ニューヨークでも３件の料理教室に通い始めました。それぞれの教室が月に１回のコースだったのでペースとしては丁度よく、また各教室は、先生の個性が異なりとても勉強になりました。ニューヨークの料理教室はサロン形式で、テーブルセッティングまで学ぶことができました。特にアメリカはパーティー文化ともいわれるほどアメリカ人はホームパーティーをよく開くので、料理教室ではホームパーティを意識した料理やスイーツ、カクテルなどのメニューが多くありました。また、料理の盛付も趣向を凝らしとても華やかでした。その中でも、パエリアはそれまで自分で満足したものが出来なかったのが上手く作れるようになり嬉しくなりました。日本のお米は粘り気があるのでパエリアには不向きで、スペイン米を使うと上手くいくようです。その他、食材の入手方法や南米などの食材を使った料理も教えていただきました。こうして料理教室に通い始めてからは、料理や食材について日米の相違を楽しめるようになってきました。一番印象に残っている違いは卵です。日本では山吹色の錦糸卵が、ニューヨークで作るとレモン色に出来上がりました。日本とアメリカでは鶏の飼料が違うので黄身の色も変わるようです。また、飴色玉ねぎは玉ねぎに含まれる糖分がカラメル状態になったものだと教わり、料理って理科の実験みたいで本当に面白いと感じました。

帰国してから現在も定期的に料理教室に通い料理の楽しさを実感しています。少し残念なのは、ニューヨークで覚えた料理を日本で作るのは困難なことです。食材を入手するのが難しく、またアメリカでは安価でも日本では相当高額な食材もあります。やはり、地産の旬の食材を生かすのが料理の醍醐味なのでしょう。

ニューヨークの料理教室

ピクニックランチ風のメニュー

御節料理

初めて満足の出来き上がりのパエリア

日本公認会計士協会埼玉県会　平成26年度役員名簿

役員名	氏名
会長	小山　彰
副会長	土屋文実男（総務）　西川　正純（業務）　平山　孔嗣（研修） 佐久間仁志（広報）　深谷　豊（親睦）
監事	内田　俊二　櫻井　茂
常任幹事	金井　千尋（総務）　中澤　仁之（総務）　大野　夏美（業務） 工藤　道弘（業務）　猪鼻　正彦（研修）　宮城由美子（研修） 飯野　浩一（広報）　小川千恵子（広報）　長谷川俊晴（親睦） 高島　誉章（親睦）
幹事	伊藤　英明　飯塚　正貴　遠藤　忠宏　岡庭　武利　小笠原薫子 長田　慶洋　長内　温子　川島弥生子　佗野　勝正　佐渡　一雄 清水　秀雄　島田紘一郎　金子由里子　寺山　昌文　長島　良亮 中島　茂喜　中村友理香　長岡　千晶　西村　克広　原口　博 松田　道春　村田　克也　村田　憲司　森山　謙一　芳原　勝伸
顧問	鈴木　義夫　多田　広光　堀　一男　藤野　廣治　真下　和男 山本　清次　蛭川　俊也　吉島　一良　坂本　隆信　熊木雄太郎 宮原　敏夫　荒井　伸夫
相談役	石山　豊　海野　亀男　稲山十四助

診断協会との懇親会

中小企業診断協会との協議会のあと、懇親会でのひとコマです。
小山会長から埼玉県会のメンバー紹介がありました。

埼玉県会ホームページ　http://www.jicpa-saitama.jp

会員・準会員ページへのアクセスは下記のID・パスワードをご入力ください。
ID（ユーザー名）：jicpasaitama　パスワード：●●●●　（ID・パスワードはすべて英数半角小文字です）
※当パスワードは2015年１月５日㈪午前９時から有効になります。それまでは昨年のパスワードをご利用ください。

編集後記

昨年11月30日に開催された第１回東京会マラソン大会のソロ部門11kmに参加しました。記録は１時間９分35秒。順位は11人中11位でしたが、初マラソンで11kmを完走できたことに満足しています。また、３月20日の第１回東京会音楽祭にも参加しました。もちろん、埼玉県会の親睦旅行や各種行事にも積極的に参加しています。

会員・準会員の皆様も本部・東京会・埼玉県会の様々な行事に参加してみませんか。ご家族やご友人も一緒に楽しめる行事も多くあります。是非ご一緒しましょう。

（小川千恵子）

2013年に引き続き、2014年も編集委員を担当させていただきました。総会・懇親会・研修会・東松山スリーデーマーチ・委員会等、埼玉県会の活動に参加し、写真を撮りまくる１年でした。また、お客様がいらっしゃるたびに、小山会長と一緒の写真を撮らせて頂きました。

2015年も、広報委員が埼玉県会の活動で写真を撮りまくることになると思います。写真を撮っている姿は、周囲の方々には目障りかもしれませんが、暖かいお気持ちで見守っていただけると幸いです。

（芳原　勝伸）

消費税率10％への改正が、平成29年４月に延期されました。日本の総債務はGNP比で200％を超えて、先進国中最悪であるといわれています。バブル崩壊後の民間部門における過剰債務のバランスシート調整の期間が失われた20年であったとするならば、公的部門の過剰債務の調整もありうるのでしょうか？

統一的な地方公会計制度の運用が平成27年度から平成29年度までには始まる予定です。公認会計士として会計や監査において社会に貢献できるようしっかりと準備していかなければならないとあらためて感じているところです。

（飯野　浩一）

12月に入り朝晩の冷え込みが一段と厳しくなりましたが皆様、いかがお過ごしでしょうか。一年経つのは早いもので、新しい歳を迎える準備に慌ただしい季節となりました。私も広報委員として２年目になりました。今後も、CPAニュースを一人でも多くの会員の皆様の身近な広報誌として親しんでいただけるようにがんばります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（金子由里子）

今年度の埼玉県会CPAニュースも、昨年同様24ページで発行することができました。原稿、写真等ご協力ありがとうございました。

さて、最近、相手ができた事で時々将棋を打つようになっております。思えば、小学生で父に教えてもらい、中学生の時、教室内でブームになり毎日のようにミニ将棋をやっていました。そういえば、今から15年ぐらい前、当時務めていた監査法人にアマチュア４段の同期がいて、何回か対戦しましたが勝つことは殆どなかった。今回は、久々の将棋リターンというわけです。将棋は一人でも楽しめますが、やはり相手がいてこそ緊張感がありますよね。今後、埼玉県会でも趣味の会を立ち上げるとか。趣味の会には、将棋は打って付けですね。県会には多くの棋士がいるのでは……。

（佐久間仁志）

埼玉県のマスコット　コバトン

日本公認会計士協会 埼玉県会
〒330-8669
さいたま市大宮区桜木町１－７－５
ソニックシティビル８Ｆ
TEL：048-644-9050　FAX：048-644-9054
E-Mail：kenkai@jicpa-saitama.jp
URL：http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース
発 行 人：埼玉県会会長　　小山　彰
編 集 人：副会長（広報担当）　佐久間仁志
構　　成：常任幹事（広報担当）　飯野浩一、小川千恵子
印 刷 所：株式会社 正文社
写真提供：西川正純